

報告第5号

株式会社夢街人とうじょうの経営状況の報告の件

株式会社夢街人とうじょうの経営状況について、地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定により報告する。

令和3年6月1日提出

加東市長 安田正義

経営状況報告書

株式会社

夢街人とうじょう

目 次

第22期 事業報告	1～9
参考資料1	
令和2年度道の駅とうじょうオリジナル商品等の売上状況	10～11
広報宣伝費・「道の駅スタンプカード」満点回収状況	12
道の駅とうじょう利用状況	13
道の駅とうじょう売上状況	14
決算報告書	15～20
貸借対照表	16
損益計算書	17
販売費及び一般管理費	18
株主資本等変動計算書	19
個別注記表	20
監査報告	21
参考資料2	
比較決算報告書	22～27
第22期部門別損益計算書	28
営業契約書（抜粋）	29～33
部門別人件費資料	34
第23期 事業計画	35～39
収支計画	40

第 2 2 期 事 業 報 告

自 令和 2 年 4 月 1 日

至 令和 3 年 3 月 3 1 日

1. 事業概要

第22期は、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響で、緊急事態宣言からのスタートとなりました。東京2020オリンピック・パラリンピックの延期をはじめ、文化イベントの中止や大型商業施設・レジャー施設の営業自粛が要請され、日常生活においては不要不急の外出の自粛、3密の回避の徹底など、これまで経験したことのない未曾有の年となりました。このような状況の中で道の駅とうじょうにおきましては、7月からの加東市ワンチーム商品券及び北播磨あつもり券の使用、10月からのGoToトラベルキャンペーンのクーポン使用が個人消費を押し上げ、コロナ禍におけるレジャーとして近距離ドライブをされる方が増えたことで、立ち寄り客が増加しました。その結果、農産物直売所は前期実績を大きく上回り、特産館も前期実績を超えることができました。今期の全体の業績としては、一般管理費の削減もあり、経常利益前期比203.1%、当期純利益は前期比182.8%の結果となりました。

(1) 事業実績

日 時	事 業 内 容
令和2年4月14日(火)	緊急事態宣言発令 5月21日迄 情報コーナー閉鎖 もみの木HOUSEは5月19日迄休業 いやしやさんは6月30日迄休業 特産館・農産物直売所は4月26日迄9時～18時の時短営業
令和2年4月27日(月)	特産館・農産物直売所は5月29日迄9時～17時の時短営業(※5月30日より営業時間延長 9時～18時) 獅子銀は5月31日迄9時～19時の時短営業 駅ラーメン華は5月31日迄11時～16時の時短営業
令和2年5月20日(水)	もみの木HOUSE営業再開
令和2年6月1日(月)	獅子銀 営業時間延長 9時～20時 駅ラーメン華 営業時間延長 11時～15時30分/17時30分～20時30分

令和2年6月30日(火)	リフレッシュスペース いやしやさん撤退
令和2年7月1日(水)	加東市ワンチーム商品券の取扱開始
令和2年7月3日(金)	東条湖おもちゃ王国週末のみの営業を再開
令和2年7月23日(木・祝)	特産館・直売所営業時間延長 9時～19時営業 8月31日迄 北播磨あつもり券取扱開始 東条湖おもちゃ王国終日営業・プール営業の開始 8月31日迄
令和2年8月1日(土)	農産物直売所 すいか即売会
令和2年9月5日(土)	農産物直売所 ジャンボかぼちゃ・ハロウィンかぼちゃコンテスト
令和2年9月16日(水)	リラクゼーションサロン「a t r e s t」オープン
令和2年10月1日(木)	G o T o トラベル地域クーポン券取扱開始 12月28日迄
令和2年10月5日(月)	特産館・直売所臨時休業 床ワックス掛け等施設清掃
令和2年12月13日(日) 令和2年12月20日(日)	J A 山の芋部会 山の芋即売会
令和3年1月14日(木)	緊急事態宣言再発令 2月28日迄
令和3年2月15日(月)	特産館・農産物直売所レジ入替のため、臨時休業
令和3年3月15日(月)	特産館・農産物直売所臨時休業 床ワックス掛け等施設清掃 キュービクル点検
令和3年3月31日(水)	特産館・農産物直売所臨時休業 消費税総額表示準備

(2) 重点事項等への取組実績

重点事項等	取組実績
<p>・施設の経年劣化・老朽化対策として、設備の保守点検を強化し、利用者に安全に利用していただけるような施設の整備運営に努める。</p>	<p>・トイレ設備関係の故障が多発した。 女子個室トイレドアの不具合、男女トイレの手洗器排水詰まり、身障者用トイレ機器の不具合、獅子銀男女トイレ水漏れ等の発生に対して、迅速に修繕対応を行った。 なお、備え付けトイレトーパー・ハンドソープ等の盗難が相次いだ為、盗難防止のPOPを配置し、トイレを中心に毎日時間を決</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・ 地場産品の展示販売、消費拡大を図り、地域産業の振興及び地域資源の活用を通して来駅者と地域住民の交流を促し、活性化に貢献できるよう実行する。 	<p>めて念入りに施設内の点検を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 緊急事態宣言発令中のGWには、新型コロナウイルス感染症対策として警備員を配置し、マスクの着用や多人数でのレジ会計回避など、安全に利用していただく為に来店客へ啓蒙活動を行った。 ・ 情報コーナーやコンビニの店頭では短時間での利用を促すPOPを配置し、防犯カメラで問題のある利用者（マスク無し・大声・長時間滞在）を確認した場合は、安全な利用にご協力いただけるよう、店内アナウンス及び声掛けを行った。12月には万引き防止の為、農産物直売所に防犯カメラを設置した。 ・ 今期のイベントは、規模を縮小して「すいか即売会」「ジャンボかぼちゃ・ハロウィンかぼちゃコンテスト」「山の芋即売会」を実施した。また、イベント時期に合わせて加東市近隣地区の新規仕入先を開拓して、食パンなどの新商品を導入した。来駅者に対し、各種商品券（加東市ワンチーム・GoToトラベル地域クーポン）の利用を促すよう、演出を工夫した。
---	---

(3) 部門別の取組実績

部門	対前年比		取組実績
	売上	入込客数	
特産館「夢街人」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対前年 104.1% ・ 対前々年 130.0% 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対前年 100.5% ・ 対前々年 89.8% 	<p>①コロナ禍のマスク不足を考慮して、布マスク・手芸用播州織カットクロスの販売を開始した。</p> <p>マスク仕入業者 7社</p>

			<p>マスク売上金額 2,140 千円 カッタクロス 150 千円</p> <p>②商品券利用客を見据えた新規仕入先の開拓 新規取引先 19 社</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で外食を控える巣ごもり需要と健康志向を考慮した商品を新たに採用した。 ・食パン、酒類、もち麦製品、茶葉類、甘酒、レトルトカレー・シチュー、菓子類約 30 点 <p>③営業利益 前年比 99.7%</p> <p>売上は前年比 104.1%であったが上期の観光客減で粗利額の高いお土産関連商品の売上が伸びなかったことが影響し、前期実績には届かなかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・営業利益 令和 2 年度 9,851 千円 令和元年度 9,885 千円
<p>農産物直売所 「コスモスの館」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対前年 111.0% ・ 対前々年 110.6% 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対前年 114.7% ・ 対前々年 115.6% 	<p>①仕入先の変更 一部仕入先の商品の品質や原価に改善すべき点があった為、これらを見直し、変更した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 売上高総利益率 令和 2 年度 17.8% 令和元年度 16.8% <p>②コロナ禍での営業傾向として、家庭内調理の需要増加とゴルフ場利用客の影響が少なかったことが追い風となり、営業数値が上がった。その中でも丹波黒枝豆は各地のイベントが中止になり、行き場のない商品が流入し</p>

			<p>たおかげで、課題であった商品不足が解消された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・丹波黒枝豆 <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度売上 4,296 千円 令和元年度売上 3,262 千円 前期比 131.6% <p>このような相乗効果は他の商品にも波及し、売上を大きく伸ばすことができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・営業利益 <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度 4,431 千円 令和元年度 2,045 千円
コンビニエンスストア「ファミリーマート」	<ul style="list-style-type: none"> ・対前年 95.9% ・対前々年 97.5% 	<ul style="list-style-type: none"> ・対前年 90.0% ・対前々年 88.7% 	<p>①廃棄損の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度廃棄率 3.3% 令和元年度廃棄率 3.5% <p>今年度は急なイベント中止等が多々あり、例年より発注が読みづらかったが、不良品廃棄は前年比90.9%で抑えることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廃棄額 <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度 6,461 千円 令和元年度 7,106 千円 ・営業利益 <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度 5,299 千円 令和元年度 6,843 千円 <p>②本部の新たな取り組み</p> <p>コロナ禍における巣ごもり需要を意識した取り組みとして、「コンビニのミニスーパー化」をテーマに、カット野菜、パウチ惣菜、冷凍食品の売場面積を拡張して、アイテム数を拡充し、品切れ防止に努めた。</p>

			<p>③コンビニの新型コロナウイルス対策の取り組みとして、多人数でのレジ会計回避、雑誌の立ち読み防止の徹底、店頭での飲食・喫煙防止、家庭内ゴミ持ち込みの防止のお願い等のPOPを配置し、感染防止に尽力した。</p>
レストラン「獅子銀」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対前年 84.7% ・ 対前々年 89.5% 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対前年 81.6% ・ 対前々年 77.2% 	<p>①昨年に引き続き、季節ごとのキャンペーンを実施した。5月は母の日、6月は父の日の特別メニューを実施。客数の多い夏季限定メニューとして、7月は夏野菜カレー、8月はさっぱりおろしカツフェアー、7月・8月2ヶ月間でうな井、かき氷メニューを実施し、好評であった。</p> <p>②今年度の新たな取り組みとして、従来のお弁当以外の単品のテイクアウトメニューを増やし、売上のマイナス分をカバーするよう努めた。</p>
「駅ラーメン 華」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対前年 92.6% ・ 対前々年 100.2% 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対前年 90.7% ・ 対前々年 86.7% 	<p>①コロナ禍での売上補填対策として、新たにギョーザとチャーハンのテイクアウトを開始した結果、ディナータイム時間帯の売上が増加した。</p> <p>②ランチタイムに集中するお客様へ料理をスムーズに提供できるよう、ホールスタッフを年長者に替えてより良い接客を心がけた。また、厨房内も動きやすいよう配置換えを行ったことで、</p>

			待ち時間が減り、固定客の増加につながった。
アロマリラクゼーションサロン 「もみの木HOUSE」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対前年 89.6% ・ 対前々年 214.4% <p>(平成30年11月～平成31年3月)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対前年 77.4% ・ 対前々年 148.6% <p>(平成30年11月～平成31年3月)</p>	<p>①新型コロナウイルス対策としてサロン内の十分な換気・消毒・こまめな備品交換を行い、安心してご利用いただくために予約が重ならないように注意した結果、滞在時間が長くなり、客単価を上げることができた。</p> <p>②新しい取り組みとして、1月より「家庭でできるアロママッサージ」「感染予防の為のアロマ活用術」をメールで配信。来店しづらい医療従事者のお客様に好評で、アロマオイル等の商品購入にもつながった。</p>
リラクゼーションサロン 「at rest (アットレスト)」	<p>売上実績 2,448 千円</p>	<p>客数 540 人</p>	<p>①利用状況</p> <p>9月16日オープン</p> <p>1日平均売上 15 千円</p> <p>1日平均客数 3.3 人</p> <p>新規来店客から確実にリピート客につながっており、総客数70%がリピート客。売上も順調に伸びており、今後はより客単価を上げる為にセットコースを設定し、SNSで発信して新規顧客を増やしていく。</p>

(参考) ●「道の駅 とうじょう」の周辺環境数値

項 目	R 2 年度	R 1 年度	比較増減
ひょうご東条 I C 出入交通量	1,358,527 台	1,566,832 台	208,305 台減
同一日当たり平均	3,721 台	4,280 台	559 台減
南山地区人口	1,877 人	1,742 人	135 人増
おもちゃ王国入場者数	183,781 人	424,093 人	240,312 人減
清水寺参拝者数	64,096 人	85,747 人	21,651 人減
インターパーク企業数	29 社	28 社	1 社増
ゴルフ場利用者数	791,393 人	807,101 人	15,708 人減

2. 会社の概況（令和3年3月31日現在）

- (1) 発行済み株式の総数 550 株
- (2) 株主と出資状況

株 主	当社への出資状況	
	持株数	持株比率
加 東 市	275	50.0%
みのり農業協同組合	175	31.8%
加東市商工会	40	7.3%
兵庫県釣針協同組合	20	3.6%
東条農業者連合	20	3.6%
コスモス会	20	3.6%

※小数点以下を四捨五入しているため、持株比率の合計は 100% になりません。

取締役および監査役

役 職	氏 名
代表取締役社長	
取 締 役	
取 締 役	
取 締 役	
取 締 役	
監 査 役	
監 査 役	

従業員の状況

雇用区分	氏 名
正 社 員	
正 社 員	
正 社 員	
正 社 員	
正 社 員	
正 社 員	

パートアルバイト社員

部 署	人 数
事務所（事務）	1 人
特産館（販売）	6 人
コスモスの館（販売）	7 人
コンビニ	13 人

参考資料 1

令和2年度 道の駅とうじょう オリジナル商品等の売上状況

広報宣伝費・「道の駅スタンプカード」満点回収状況

道の駅とうじょう 利用状況

道の駅とうじょう 売上状況

貸借対照表

令和 3年 3月31日 現在

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	【 75,279,407】	【流動負債】	【 25,636,940】
現金・預金	61,952,195	買掛金	16,665,288
売掛金	512,016	未払金	5,569,118
売掛金クレジット	1,180,565	源泉預り金	128,934
商 品	6,367,546	住民預り金	206,200
販売委託商品	60,094	未払法人税等	3,067,400
貯 蔵 品	558,894	【固定負債】	【 7,490,000】
短期貸付金	3,141,965	預り保証金	7,490,000
立 替 金	846,314		
未 収 入 金	255,340		
仮 払 金	4,326		
消費税預け金	422,526		
預 け 金	8,126	負債合計	33,126,940
貸倒引当金	△30,500		
【固定資産】	【 57,436,444】	純 資 産 の 部	
[有形固定資産]	[43,496,261]	【株主資本】	【 99,588,911】
建 物	25,771,997	[資 本 金]	[30,000,000]
建物附属設備	3,904,373	[利益剰余金]	[69,588,911]
機 械 装 置	5,001,672	利益準備金	5,060,000
車両運搬具	1	(その他利益剰余金)	(64,528,911)
什 器 備 品	8,818,218	別 途 積 立 金	5,000,000
[無形固定資産]	[13,911,583]	繰越利益剰余金	59,528,911
繰延資産	13,401,077	(うち当期純利益)	(8,978,012)
ソフトウェア	510,506		
[投資その他の資産]	[28,600]		
出 資 金	8,600		
保 証 金	20,000	純資産合計	99,588,911
資産合計	132,715,851	負債・純資産合計	132,715,851

損 益 計 算 書

自 令和 2年 4月 1日

至 令和 3年 3月31日

(単位：円)

科 目	金	額
【純 売 上 高】		
商 品 売 上 高	78,089,003	
獅 子 銀 売 上 高	4,400,000	
コソビニ売 上 高	201,557,697	
駅 ラーメン 華	1,760,000	
公衆電話自販機売上	1,574,589	
営 業 収 入	2,445,830	
管 理 委 託 収 入	4,450,000	
直 売 所 売 上	155,052,925	
もみの木売 上	660,000	
癒しや売 上	8,000	
アットレスト	326,000	450,324,044
【売 上 原 価】		
期 首 棚 卸 高	6,726,890	
商 品 仕 入 高	182,658,572	
コソビニ仕 入	144,399,559	
商 品 廃 棄 損	△6,520,861	
管 理 委 託 費	4,462,556	
合 計	331,726,716	
期 末 棚 卸 高	6,367,546	325,359,170
売 上 総 利 益		124,964,874
【販売費及び一般管理費】		115,870,298
営 業 利 益		9,094,576
【営 業 外 収 益】		
受 取 利 息	47,318	
貸倒引当金戻入	26,000	
雑 収 入	3,546,048	3,619,366
【営 業 外 費 用】		
雑 損 失	21,605	21,605
経 常 利 益		12,692,337
【特 別 損 失】		
固 定 資 産 除 却 損	2	2
税引前当期純利益		12,692,335
法人税等充当額		3,714,323
当 期 純 利 益		8,978,012

販売費及び一般管理費

自 令和 2年 4月 1日

至 令和 3年 3月31日 (単位：円)

科 目	金 額
役 員 報 酬	336,000
給 料 手 当	36,195,115
賞 与	4,299,700
パ-トアルパ-ト給与	13,655,898
法 定 福 利 費	6,420,913
福 利 厚 生 費	1,571,547
広 告 宣 伝 費	3,459,670
運 賃	293,905
容 器 包 装 費	645,442
リ ー ス 料	301,224
水 道 光 熱 費	5,820,684
車 両 関 連 費	120,686
事 務 用 消 耗 品 費	147,316
消 耗 品 費	2,494,764
支 払 保 険 料	349,220
修 繕 費	820,827
租 税 公 課	303,602
減 価 償 却 費	5,856,017
接 待 交 際 費	194,948
旅 費 交 通 費	1,199,352
通 信 費	560,322
支 払 手 数 料	2,660,530
会 議 費	26,247
諸 会 費	139,280
貸 倒 引 当 金 繰 入	30,500
本 部 フ ィ ー	17,510,790
保 守 管 理 費	1,236,635
不 良 品 廃 棄	6,460,841
雑 費	2,758,323
合 計	115,870,298

株 主 資 本 等 変 動 計 算 書

自 令和 2年 4月 1日
至 令和 3年 3月31日

(単位：円)

株主資本

資本金	当期首残高及び当期末残高	30,000,000
利益剰余金		
利益準備金	当期首残高及び当期末残高	5,060,000
その他利益剰余金		
別途積立金	当期首残高及び当期末残高	5,000,000
繰越利益剰余金	当期首残高	51,150,899
	当期変動額	△600,000
	剰余金の配当	8,978,012
	当期純利益	8,978,012
	当期末残高	59,528,911
利益剰余金合計	当期首残高	61,210,899
	当期変動額	8,378,012
	当期末残高	69,588,911
株主資本合計	当期首残高	91,210,899
	当期変動額	8,378,012
	当期末残高	99,588,911
純資産合計	当期首残高	91,210,899
	当期変動額	8,378,012
	当期末残高	99,588,911

個 別 注 記 表

自 令和 2年 4月 1日

至 令和 3年 3月31日

1. この計算書類は、中小企業の会計に関する要領によって作成しています。
2. 重要な会計方針に係る事項に関する注記
 - (1) 資産の評価基準及び評価方法
 - ① たな卸資産の評価基準及び評価方法
商品・貯蔵品・・・最終仕入原価法による原価法
 - (2) 固定資産の減価償却の方法
 - ① 有形固定資産
定率法
(平成10年4月1日以降に取得した建物・平成28年4月1日以降に取得した建物付属設備及び構築物は定額法)
 - ② 無形固定資産
定額法
 - ③ 繰延資産
定額法
 - (3) 収益及び費用の計上基準
収益・・・・・・・・実現主義
費用・・・・・・・・発生主義
 - (4) その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項
消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は税抜方式により処理しております。
3. 株主資本等変動計算書に関する注記
 - (1) 発行済株式の種類及び総数に関する事項
発行済株式
普通株式（発行済株式）
当期末株式数（発行済普通株式） 550株
4. その他の注記

監 査 報 告

私監査役は、令和2年4月1日から令和3年3月31日までの第22期事業年度の貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、個別注記表、事業報告および付属明細書を監査しました結果、適法かつ正確であることを認めます。

令和 3年5月21日

監 査 役

監 査 役

報 告 書

前記の通りご報告申し上げます。

令和 3年5月21日

株式会社夢街人とうじょう

代表取締役

比較貸借対照表

令和 3年 3月31日 現在

(単位：円)

科 目	当 期	前 期	対 前 期 増 減	対前期比 %
【流 動 資 産】	【 75,279,407】	【 68,702,703】	【 6,576,704】	【 109.5】
現金・預金	61,952,195	55,866,540	6,085,655	110.8
売掛金	512,016	700,796	△188,780	73.0
売掛金クレジット	1,180,565	896,525	284,040	131.6
商 品	6,367,546	6,726,890	△359,344	94.6
販売委託商品	60,094	89,953	△29,859	66.8
貯 蔵 品	558,894	307,126	251,768	181.9
F C 貸付金	3,141,965	2,645,203	496,762	118.7
立 替 金	846,314	889,320	△43,006	95.1
未 収 入 金	255,340	226,300	29,040	112.8
消費税預け金	422,526	367,598	54,928	114.9
預 け 金	8,126	8,126	0	100.0
仮 払 金	4,326	4,326	0	100.0
貸倒引当金	△30,500	△26,000	△4,500	117.3
【固 定 資 産】	【 57,436,444】	【 54,320,463】	【 3,115,981】	【 105.7】
[有 形 固 定 資 産]	[43,496,261]	[39,113,516]	[4,382,745]	[111.2]
建 物	25,771,997	27,602,881	△1,830,884	93.3
建物附属設備	3,904,373	4,480,399	△576,026	87.1
機 械 装 置	5,001,672	6,646,064	△1,644,392	75.2
車 両 運 搬 具	1	1	0	100.0
什 器 備 品	8,818,218	384,171	8,434,047	2295.3
[無 形 固 定 資 産]	[13,911,583]	[15,178,347]	[△1,266,764]	[91.6]
繰 延 資 産	13,401,077	14,412,590	△1,011,513	92.9
ソフトウェア	510,506	765,757	△255,251	66.6
[投 資 そ の 他 の 資 産]	[28,600]	[28,600]	[0]	[100.0]
出 資 金	8,600	8,600	0	100.0
保 証 金	20,000	20,000	0	100.0
資 産 合 計	132,715,851	123,023,166	9,692,685	107.8
【流 動 負 債】	【 25,636,940】	【 24,742,267】	【 894,673】	【 103.6】
買 掛 金	16,665,288	15,276,218	1,389,070	109.0
未 払 金	5,569,118	8,701,832	△3,132,714	63.9
源泉預り金	128,934	130,117	△1,183	99.0
住民預り金	206,200	174,000	32,200	118.5
未払法人税等	3,067,400	460,100	2,607,300	666.6
【固 定 負 債】	【 7,490,000】	【 7,070,000】	【 420,000】	【 105.9】
預り保証金	7,490,000	7,070,000	420,000	105.9

(単位：円)

科 目	当 期	前 期	対 前 期 増 減	対前期比
負 債 合 計	33,126,940	31,812,267	1,314,673	104.1
【株 主 資 本】	【 99,588,911】	【 91,210,899】	【 8,378,012】	【 109.1】
資 本 金	30,000,000	30,000,000	0	100.0
[利 益 剰 余 金]	[69,588,911]	[61,210,899]	[8,378,012]	[113.6]
利 益 準 備 金	5,060,000	5,060,000	0	100.0
(その他利益剰余金)	(64,528,911)	(56,150,899)	(8,378,012)	(114.9)
別 途 積 立 金	5,000,000	5,000,000	0	100.0
繰越利益剰余金	59,528,911	51,150,899	8,378,012	116.3
(うち当期純利益)	(8,978,012)	(4,911,241)	(4,066,771)	(182.8)
純 資 産 合 計	99,588,911	91,210,899	8,378,012	109.1
負債・純資産合計	132,715,851	123,023,166	9,692,685	107.8

比較損益計算書

自 令和 2年 4月 1日
至 令和 3年 3月31日

(単位：円)

科 目	当 期	前 期	対 前 期 増 減	対前期比
【純 売 上 高】	【 450,324,044】	【 441,119,392】	【 9,204,652】	【 102.0】
商品売上高	78,089,003	75,049,873	3,039,130	104.0
獅子銀売上高	4,400,000	4,800,000	△400,000	91.6
コンビニ売上高	201,557,697	210,276,887	△8,719,190	95.8
駅ラーメン華	1,760,000	1,920,000	△160,000	91.6
もみの木売上	660,000	720,000	△60,000	91.6
癒しや売上	8,000	170,000	△162,000	4.7
アットレスト	326,000		326,000	
公衆電話自販機売上	1,574,589	1,502,778	71,811	104.7
営業収入	2,445,830	2,516,135	△70,305	97.2
管理委託収入	4,450,000	4,491,597	△41,597	99.0
直売所売上	155,052,925	139,672,122	15,380,803	111.0
【売 上 原 価】	【 325,359,170】	【 315,383,361】	【 9,975,809】	【 103.1】
期首棚卸高	6,726,890	7,386,469	△659,579	91.0
商品仕入高	182,658,572	167,588,888	15,069,684	108.9
コンビニ仕入	144,399,559	149,797,702	△5,398,143	96.3
商品廃棄損	△6,520,861	△7,177,163	656,302	90.8
管理委託費	4,462,556	4,514,355	△51,799	98.8
期末棚卸高	6,367,546	6,726,890	△359,344	94.6
売上総利益	124,964,874	125,736,031	△771,157	99.3
【販売費及び一般管理費】	【 115,870,298】	【 122,459,579】	【 △6,589,281】	【 94.6】
営業利益	9,094,576	3,276,452	5,818,124	277.5
【営業外収益】	【 3,619,366】	【 2,988,300】	【 631,066】	【 121.1】
受取利息	47,318	52,471	△5,153	90.1
貸倒引当金戻入	26,000	14,000	12,000	185.7
雑収入	3,546,048	2,921,829	624,219	121.3
【営業外費用】	【 21,605】	【 18,053】	【 3,552】	【 119.6】
雑損失	21,605	18,053	3,552	119.6
経常利益	12,692,337	6,246,699	6,445,638	203.1
【特別損失】	【 2】		【 2】	
固定資産除却損	2		2	
税引前当期純利益	12,692,335	6,246,699	6,445,636	203.1
法人税等充当額	3,714,323	1,335,458	2,378,865	278.1
当期純利益	8,978,012	4,911,241	4,066,771	182.8

比較販売費及び一般管理費

自 令和 2年 4月 1日
至 令和 3年 3月31日

(単位：円)

科 目	当 期	前 期	対 前 期 増 減	対前期比 %
役 員 報 酬	336,000	336,000	0	100.0
給 料 手 当	36,195,115	35,520,935	674,180	101.8
賞 与 金	4,299,700	4,506,350	△206,650	95.4
退 職 金		10,000	△10,000	
法 定 福 利 費	6,420,913	5,909,041	511,872	108.6
福 利 厚 生 費	1,571,547	1,108,545	463,002	141.7
ハートアルハイト給与	13,655,898	13,460,659	195,239	101.4
広 告 宣 伝 費	3,459,670	4,607,602	△1,147,932	75.0
運 賃	293,905	321,623	△27,718	91.3
容 器 包 装 費	645,442	779,701	△134,259	82.7
リ ー ス 料	301,224	323,448	△22,224	93.1
本 部 フ ィ ー	17,510,790	18,727,505	△1,216,715	93.5
水 道 光 熱 費	5,820,684	6,209,624	△388,940	93.7
車 両 関 連 費	120,686	250,392	△129,706	48.1
事 務 用 消 耗 品 費	147,316	134,478	12,838	109.5
消 耗 品 費	2,494,764	2,353,795	140,969	105.9
支 払 保 険 料	349,220	347,140	2,080	100.5
修 繕 費	820,827	4,671,774	△3,850,947	17.5
租 税 公 課	303,602	450,700	△147,098	67.3
減 価 償 却 費	5,856,017	6,343,439	△487,422	92.3
接 待 交 際 費	194,948	172,622	22,326	112.9
旅 費 交 通 費	1,199,352	1,271,213	△71,861	94.3
通 信 費	560,322	551,682	8,640	101.5
支 払 手 数 料	2,660,530	2,492,260	168,270	106.7
会 議 費	26,247	181,807	△155,560	14.4
諸 会 費	139,280	167,640	△28,360	83.0
図 書 教 育 費		16,732	△16,732	
貸 倒 引 当 金 繰 入	30,500	26,000	4,500	117.3
保 守 管 理 費	1,236,635	1,774,574	△537,939	69.6
不 良 品 廃 棄	6,460,841	7,106,152	△645,311	90.9
雑 費	2,758,323	2,326,146	432,177	118.5
合 計	115,870,298	122,459,579	△6,589,281	94.6

株 主 資 本 等 変 動 計 算 書

自 令和 2年 4月 1日
至 令和 3年 3月31日

(単位：円)

		当 期	前 期
株主資本		30,000,000	30,000,000
資本金	当期首残高及び当期末残高	30,000,000	30,000,000
利益剰余金			
利益準備金	当期首残高	5,060,000	5,000,000
	当期変動額	0	60,000
			(剰余金から準備金への振替)
	当期末残高	5,060,000	5,060,000
その他利益剰余金			
別途積立金	当期首残高及び当期末残高	5,000,000	5,000,000
繰越利益剰余金	当期首残高	51,150,899	46,899,658
	当期変動額	△600,000	△600,000
		8,978,012	4,911,241
		0	△60,000
			(剰余金から準備金への振替)
	当期末残高	59,528,911	51,150,899
利益剰余金合計	当期首残高	61,210,899	56,899,658
	当期変動額	8,378,012	4,311,241
	当期末残高	69,588,911	61,210,899
株主資本合計	当期首残高	91,210,899	86,899,658
	当期変動額	8,378,012	4,311,241
	当期末残高	99,588,911	91,210,899
純資産合計	当期首残高	91,210,899	86,899,658
	当期変動額	8,378,012	4,311,241
	当期末残高	99,588,911	91,210,899

第 2 2 期部門別損益計算書

○部門別人件費資料（令和3年3月31日現在）

第23期 事業計画

自 令和3年 4月 1日

至 令和4年 3月31日

1. 重点事項

- (1) 当道の駅施設が利用者にとって有効に機能する様に創意工夫に努め、道の駅の3大機能である「休憩」・「情報交流」・「地域の連携」を体感できる、安全で活力のある道の駅の運営を目指す。
- (2) 施設の設置目的である地場製品の展示販売による消費の拡大を図り、地域産業の振興及び地域資源の活用を通して来駅者と地域住民の交流を促し、活性化に貢献できるような企画を立案し、実行する。

2. 今年度基本方針

- (1) 行政との連携を強化する。
 - ・「南山活性化支援施設(ミナクル)」とインターパーク内企業と情報共有を図り、南山地域の活性化に貢献する。
 - ・兵庫県道の駅連絡会、近畿道の駅連絡会のネットワークを通して他の道の駅との連携を強化し、集客アップの企画、新商品開発、セキュリティ面の対応などの情報を共有し、安全で楽しい道の駅の運営に活かす。
 - ・新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、小売業のガイドラインを遵守した施設運営に努め、市及び県の要請等に対しても迅速に対応して、来駅者が安心して施設を利用できるよう、心掛ける。
- (2) 農産物直売所と特産館の両売場が行き来しやすいよう動線を工夫し、加東市産の食材を利用したオリジナル商品の開発取り組んで、売上及び利用者の更なる増加を目標とする。
- (3) 年に一度、利用者の多い3月に施設状況や品揃え、接客等に関してアンケートを実施し、利用者の満足度を把握し健全な運営に活かす。
- (4) 「情報・休憩コーナー」整理整頓に努め、北播地域及び県下のタイムリーかつ優良な情報と、清潔で気持ちよく過ごせる場所が提供出来るよう、創意工夫に努める。
- (5) 従業員がお互いに協力し合い、道の駅の従業員として誇りを持って職務を遂行できるよう職場環境を整え、秩序の保持に努める。

【物販・サービス施設関係】

・道の駅として相応しい空間の提供

軒下で土日を中心に開催している催事（屋台）の充実を図り、“週末に道の駅とうじょうへ行けば、何かおもしろいことがある”と来駅者が楽しめる演出を心掛け、SNSで、ステイホームによる巣ごもり消費の提案（旬の野菜レシピ、家呑みなど）を行い、来店を促すよう働きかける。

<特産館・夢街人>

①地域製品の訴求

- ・山田錦やもち麦を使用した製品の販売をより強化する。

②お土産品の強化

利益率の高い商品を増やして収益率の向上を図る。

県内ご当地カレー、神戸ブランド菓子類、仕入先支援の期間限定福袋

③兵庫県下を中心に全国の有名産地の名産品の品揃え

北播地区特産品に関連した商品を増やす。

④近隣のゴルフ場での特産品・土産品の展示販売

季節に応じた商品の陳列（常設）をはじめ、先方担当者とコミュニケーションを図り、売上拡大及び来駅につなげる。

⑤営業日及び季節による営業時間の変更（昨年同様）

- ・原則、毎日営業日とする。（不定休：メンテナンスの為の休業、年末年始）
- ・人件費、営業効率面から10月～6月の閉店時間を平日は午後6時30分、土日祝日は午後7時、客数が増加する7月、8月は全日午後7時、1月、2月は閉店時間を全日午後6時に繰り上げる。

<農産物直売所・コスモスの館> ※営業日、営業時間は特産館と同じ

①現在休止中の新規生産者の募集を既存生産者からの紹介を条件に再開する。

②ふるさと納税の返礼品の受付数量はまだまだ伸ばせる余地があり、丹波黒枝豆は前年の2倍を受注できるよう、令和2年度の出荷実績のある生産者にふるさと納税の詳細を伝えて働きかけ、販路拡大を図る。

③生産者の商品クオリティにバラつきがあるので、問題のある生産者に対して良い商品を出荷している生産者を基準に責任者から直接指導して、売場に並ぶ商品の安定供給・一定レベルの品質向上を図る。

④特産館と同様、営業日及び季節による営業時間の変更を実施する。

<コンビニ・ファミリーマート>

- ①6月の店舗改装による売場拡大により、顧客の利便性を上げて客単価アップと売上拡大を図る。
- ②収益率の向上と廃棄率の抑制に努める。
 - ・原価率の低い飲料類の販売強化（ファミマカフェ 他）
 - ・賞味期限の短い日配商品（おにぎり、弁当、サンドイッチ類）はイベントや天気予報で客数を予測した在庫管理で売上と納品数量のバランスをとる。（発注調整）
- ③新型コロナウイルスによる在宅需要が増えたことを踏まえ、日常使いの加工食品・日用品などの品揃えの強化を図り、日配商品・惣菜の鮮度延長を実施する。

<レストラン・獅子銀>

- ①今後も増加の見込める近隣企業の従業員やトラック運転手等への対応として、ランチタイム用のポイントカードの付与を増やす。
- ②シーズンごとの期間限定メニューを刷新し、来店頻度を増やす。
夏場のうな重、フラッペ、冬場の鍋メニュー（ひとり鍋の定食）
- ③大型連休などの繁忙期には単品メニューを増やし、客単価のアップを狙う。
- ④予約受付システムをPRし、バス団体客の確保を図る。
予約バス用の駐車場の確保PR、団体用お奨めメニューのPRを行う。

<駅ラーメン・華(はな)>

- ①開業5年目を迎え、常連客に飽きられないよう、新メニューを開発する。
お子様向けメニュー、変わり種ギョーザ等
- ②平日ランチタイムの常連客を更に増やせるよう、POP・店内演出を刷新し、新たにガス炊飯器を導入して白ごはんのクオリティを高める。（東条産のお米）
- ③土日祝日のファミリー層への対応として、お子様向けプレゼントを企画する。

<アロマリラクゼーションサロン・もみの木HOUSE>

- ①顧客へ『アロマテラピーによる免疫力アップ』を提案する。
自律神経の乱れを整える、血流を促して免疫力を保つことなど。
→ハンドマッサージなどテーマを決めてリモートで配信する。
- ②コロナ禍で来店を遠慮される顧客もおられるので、お客様に応じた『アロマを活用した生活スタイル・予防法』をリモートで提案し、収束後の来店につなげられるよう、工夫する。

<リラクゼーションサロン・a t r e s t >

①新規顧客の開拓に努める。

季節に応じた健康に関する情報をHP、SNSで発信し、予約状況も随時更新して、空きが出ないよう工夫する。

②開業6ヶ月でまだまだ知名度は低いため、持続化補助金を活用した販促活動を行う。

(HPのリニューアル、チラシポスティング、地域情報誌の掲載)

<情報・休憩コーナー>

①北播地域を中心に、正確でタイムリーな情報を効率よく提供出来るように工夫する。ポスター、チラシの優先順位明確化し、常に整理整頓に努める。

②地元加東市の求人情報コーナーの設置(継続)

③清潔で居心地の良い空間の維持管理に努める。

3. 施設管理の計画

施設名	営業時間	休館日
特産館 (夢街人)	平日 午前9時～午後6時30 土日祝 午前9時～午後7時 ※1月、2月は全日午後6時閉店 7月、8月は全日午後7時閉店	不定休 年度内数日休 年末年始
農産物直売所 (コスモスの館)	「特産館」に準じる	「特産館」に準じる。
コンビニ (ファミリーマート)	24時間営業	無休
レストラン (獅子銀)	平日 午前9時～午後8時 (LO 午後7時30分) 土日祝 午前9時～午後9時 (LO 午後8時30分)	年末年始
レストラン (駅ラーメン 華)	午前11時～午後3時30分 午後5時30分～午後8時 (LO 午後7時45分)	木曜日

アロマリラクゼーション (もみの木HOUSE)	午前10時～午後6時 (最終受付 午後5時)	月曜日
リラクゼーション (a t r e s t)	午後12時～午後9時 (最終受付 午後8時)	火曜日
情報・休憩室	24時間開放	無休
トイレ	24時間使用可	無休

■勤務時間

- 特産館 : 午前8時45分から午後6時45分まで
(土日祝、7月、8月の午後7時閉店時は午後7時15分まで、
1、2月の午後6時閉店時は午後6時15分まで勤務)
- 直売所 : 特産館に準じる。
- コンビニ : 午前6時から翌午前6時まで

■勤務体制

特産館 (総務を含む)

社員 (駅長、経理担当社員)、パート従業員のシフト表による1箇月単位の労働基準法に基づいた変形労働時間制

直売所

社員 (部長)、パート従業員のシフト表による1箇月単位の労働基準法に基づいた変形労働時間制

コンビニ

社員 (店長、マネージャー)、パート従業員のシフト表による1箇月単位の労働基準法に基づいた変形労働時間制 (※深夜勤務有り)

収 支 計 画

収入の部

支出の部

総務

(単位：千円)

項目	3年度	2年度	差 額	前期比	項目	3年度	2年度	差 額	前期比
売 上	14,300	13,179	1,121	108.5%	売上原価	4,550	4,463	87	101.9%
					人件費	10,200	9,316	884	109.5%
					光熱水費	1,000	990	10	101.0%
					一般管理費	11,000	8,871	2,129	124.0%
営業外収入	2,200	2,409	△ 209	91.3%	営業外費用	20	11	9	181.8%
合 計	16,500	15,588	912	105.9%	合 計	26,770	23,651	3,119	113.2%
					収支差額	△ 10,270	△ 8,063	△ 2,207	78.5%

特産館「夢街人」

(単位：千円)

項目	3年度	2年度	差 額	前期比	項目	3年度	2年度	差 額	前期比
売 上	78,500	78,089	411	100.5%	売上原価	55,000	54,946	54	100.1%
					人件費	10,300	9,965	335	103.4%
					光熱水費	850	829	21	102.5%
					一般管理費	4,300	2,498	1,802	172.1%
営業外収入	0	11	△ 11	—	営業外費用	10	9	1	111.1%
合 計	78,500	78,100	400	100.5%	合 計	70,460	68,247	2,213	103.2%
					収支差額	8,040	9,853	△ 1,813	81.6%

農産物直売所 「コスモスの館」

(単位：千円)

項目	3年度	2年度	差 額	前期比	項目	3年度	2年度	差 額	前期比
売 上	156,000	155,053	947	100.6%	売上原価	128,000	127,671	329	100.3%
					人件費	14,500	14,066	434	103.1%
					光熱水費	900	855	45	105.3%
					一般管理費	10,000	8,030	1,970	124.5%
営業外収入	1,150	1,124	26	102.3%	営業外費用	1	1	0	100.0%
合 計	157,150	156,177	973	100.6%	合 計	153,401	150,623	2,778	101.8%
					収支差額	3,749	5,554	△ 1805	67.5%

コンビニエンスストア 「ファミリーマート」

(単位：千円)

項目	3年度	2年度	差 額	前期比	項目	3年度	2年度	差 額	前期比
売 上	215,000	201,558	13,442	106.7%	売上原価	148,000	138,281	9,719	107.0%
営業収入	2,500	2,446	54	102.2%	人件費	30,500	29,132	1,368	104.7%
					光熱水費	3,200	3,146	54	101.7%
					一般管理費	28,800	28,146	654	102.3%
営業外収入	50	49	1	102.0%	営業外費用	2,018	0	2,018	—
合 計	217,550	204,053	13,497	106.6%	合 計	212,518	198,705	13,813	107.0%
					収支差額	5,032	5,348	△ 316	94.1%

総合計

(単位：千円)

項目	3年度	2年度	差 額	前期比	項目	3年度	2年度	差 額	前期比
売 上	463,800	447,879	15,921	103.6%	売上原価	335,550	325,361	10,189	103.1%
営業収入	2,500	2,446	54	102.2%	人件費	65,500	62,479	3,021	104.8%
					光熱水費	5,950	5,820	130	102.2%
					一般管理費	54,100	47,545	6,555	113.8%
営業外収入	3,400	3,593	△ 193	94.6%	営業外費用	2,049	21	2,028	9757.1%
合 計	469,700	453,918	15,782	103.5%	合 計	463,149	441,226	21,923	105.0%
					収支差額	6,551	12,692	△ 6,141	51.6%

※収支差額：経常利益 ※法人税等は含まず